

Ndadasuna

んだすな



平成17年6月15日発行
発行／秋田県生活環境文化部県民文化政策課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2
TEL018-860-1520
編集／北部市民活動サポートセンター
〒017-0841 秋田県大館市字大町57
TEL0186-49-8553
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

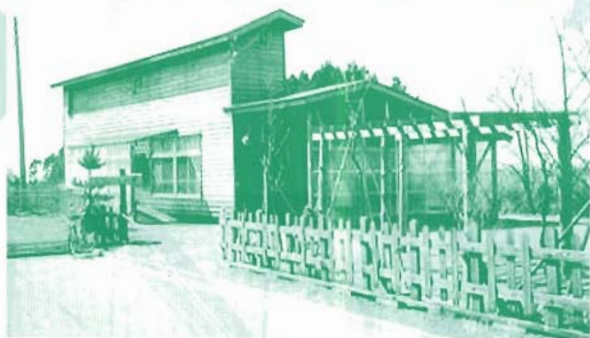
ともに生き、ともに喜ぶ
にぐるまの会(能代市)



ボランティアグループにぐるまの会

移送ボランティアをきっかけに、福祉機器の開発・バリアフリーの研究、ボランティア活動の企画（ワークショップ・心をつむぎあうものづくり）、不登校児のカウンセリング、ひとり暮らし老人の心のケア支援、社会福祉の啓蒙活動を行っています。

◆平成6年発足◆会員8名 ☎ TEL0185-54-3727



にぐるま工房

心の糸をつむぎあう場で、にぐるまの会の活動拠点として中心的役割を果たしています。オリジナルグッズの製作もを行っています。

オリジナルグッズ「森の精シリーズ」

天然秋田杉や秋田杉の端材、山から拾ってきた小枝を活用した木工品。持ち寄られた古い布地や捨てられ焼却されかけた材料にもう一度生命を甦らせようと名づけられました。ペンダント、イヤリング、フォトスタンド、におい袋から木製ポスト、門灯などなど。いろいろなイベントで販売しています。写真は昨年秋の秋田ボランティアフェスティバルの様子。



木製歩行器 “ララ”

にぐるまの会が開発した福祉用具（平成9年意匠登録）で、木材のまちなみ代ならではの温かみのある木を使ったもの。多くの方に喜ばれています。

ともに生き、 ともに喜ぶ

海と山に囲まれた“にぐるま工房”

手作りの看板や鉢カバー、花台には心地よさそうに花々が微笑んでいます。木作りのふくろうもっこりしています。

にぐるまの会代表の安部美恵子さんは、気さくに工房内を案内してくださいました。あちこちにドライフラワーが飾られ、手作りの味わいと木のぬくもりある小物が置かれています。

こちらには、会員が仕事帰りに立ち寄りオリジナルグッズ「森の精シリーズ」を作るなどして疲れを癒していきます。また、悩みを抱えた子どもたちが遊びに来て食事をしたり、時には泊まって行ったりもします。みんな日常とは違った空間、人と人との触れ合いを味わい満足していきます。

「長くかわいがっていたけれど“お嫁”に出したのよ。」

と活動を共にしてきたリフトカーについて話してくれました。そもそも11年前、まだ民間のタクシー会社にもリフトカーがなかったころ、体の不自由な透析患者を通院させるのに大変難儀していた家族が、困って安部さん（当時福祉相談員）に相談を持ち込みました。それがきっかけとなり「にぐるまの会」が発足。体の不自由な人・高齢者・子どもたちのために車の片方の車輪になって、支えていこうと名づけられました。移送ボランティアは“命を運ぶ”ボ



安部さんの誕生日には、会員の皆さんが趣向を凝らしてお祝いしています。安部さんそっくりの似顔絵が登場。



にぐるまの会(能代市)

ランティアとして会員が手と手をあわせてコツコツと輪を広げていきました。“お嫁”に出たリフトカーは新しい嫁ぎ先で“命を運び”つづけます。そしてにぐるまの会は新たな活動へ歩み始めます。

安部さんの、疑問に思うことは放っておかず、すぐに取組む姿勢が、かいごの会、にぐるまの会生活学校、ひまわり号を走らせる会、“24時間愛は地球を救う”“ユニセフ”募金活動など、体の不自由な人・高齢者の方たち・子どもたちのためにできるあらゆる活動につながっています。

また、“ほとけさまってなーに。おはなし会”や講話会を開いて、命の輝き・命の尊さについて、ともに生きともに喜びあえる素晴らしさについて伝えるために心魂をささげています。(残念ながら今年のおはなし会はお休みだそうです…)

「まだまだやりたいことがたくさんあるのよ。」

工房内には登山用具もありました。毎年5月4日に鳥海山に登っていて、もう40年になります。ガンの手術をした年も会員のサポートのもと登り、定年退職した今年も登りました。多忙な日々でも、活動の合間にしっかりと体力づくりをしています。「まだまだやりたいことがたくさんあるのよ。」と生き生き話してくれました。活動の場はますます広がっていきます。



代表の安部さん(中央)と会員の皆さん。昨年山本町、長信田の森診療クリニック主催の新潟中越地震へのチャリティーイベントで「命の尊さ」をテーマに講話しました。

ひまわり号を走らせる会

障害者・児や高齢者に列車の旅を楽しんでもらおうと能代市民有志が企画・運営。全国で開催、能代では今年で14回目。毎年6月にJR能代駅と十二湖駅を往復しています。多くのボランティアが参加しています。



会員が手書きした参加バッジ



“24時間愛は地球を救う”募金活動。子どもたちが自分の意思で参加しています。

ボランティアグループ かいご会

昭和60年老人介護者養成講座終了生27人でスタート。安部さんが代表で、障害者・児や高齢者の介助ボランティアのほか各団体事業への協力・支援ボランティアを行っています。写真は工房で一輪差し作りに挑戦。



ほっと地域にゆーす

県北地域のボランティア・NPO 活動をしている団体をご紹介します。

「活動内容を紹介したい」「仲間を増やしたい」という団体を募集しています。



子孫に残す最高の贈り物
すこやかな体と美しい自然
だから私たちは
安全な石けんを
お勧めします

北秋田市
(旧鷹巣)

「さぶる」ってご存知ですか？古代ローマの「サプル」の丘で神に供えた羊の脂と灰で「せっけん」ができたところから英語の「ソープ」の語源になった言葉です。



私たち「さぶる」は廃油を回収しての石けん作りや学習会、環境教室や環境調査・実験、「さぶる通信」の発行などを通して生活の中の危険な化学物質の怖さを多くの方々に知っていただくこと、平成4年から楽しく活動を続けています。健康・環境に関心のある方、活動を覗いてみませんか？

北秋田安全な石けんを広める会
「さぶる」

☎ TEL0186-63-2178

<http://www.kumagera.ne.jp/accy/sapuruhp/>

◆会長/柳谷純子 ◆平成4年設立◆会員 73名

お茶とともに

大館市

30年前に川口地区の皆様呼びかけて「親子茶会」というサークルを新設しました。当時小学生だった娘とともに学んだことが、今では懐かしい思い出です。

会は都合により中断していましたが、5年前から「一期一会」というサークル名の元で活動を再開し、毎年、3月3日にスポーツ少年団の子どもや地域の子どもたちと「おひなさま茶会」を行ったり、10月には公民館の文化祭に協賛して、地域の皆様と交流を計っております。

さらに年末に行っております「一人暮らしの老人を応援するクリスマス茶会」では、参加者に「この一服のお茶で百歳まで生きられるような気がする」というお言葉をいただき、地域文化というものの一端を教えられたような気がしました。

毎月第1・第3土曜日がお稽古の日ですので、興味のある方は遊びにいらしてください。

お茶サークル「一期一会」

☎ 下川沿公民館 TEL0186-49-0271

◆代表/今時 ◆平成12年再設立◆会員 8名

強カバックアップ

北秋田地域振興局
総務企画部 地域企画課
県民生活班 主査

齋藤 寿幸 さん



いつも精力的にご協力くださる方々をご紹介しますとともに、今後のボランティア・NPO活動についてお伺いしました。

Q. こちらの窓口ではどんなことを行っていますか。

A. ボランティアに関することのほかに、相談や苦情の受け付け、県政に関する情報提供・情報公開、団体、交通安全、防災、男女共同参画、青少年健全育成、旅券など市民の暮らしに密着した業務を担当しています。担当する業務はNPO活動が活発に行われている分野でもあります。

Q. ボランティア・NPO活動の現状についてどのように感じていますか。

A. この地域でも様々な分野で様々な団体が活発に活動していると思っていますが、詳しい情報は伝わってきません。積極的に情報発

信することやマスコミの協力を得ることが必要だと思えます。県では「民間との協働による地域社会づくり」を重要な課題ととらえています。行政等との協働を進めるためにも、自らの活動を知ってもらうこと、理解してもらうことが必要です。情報を出すことは情報が入ってくることに繋がり、自らの活動もステップアップするのではないのでしょうか。

Q. ボランティア・NPO活動の今後に望むことを教えてください。

A. 国や県では、やる気のある市町村や団体といっしょに取り組む、提案型・応募型の事業が増えてきています。NPOの先駆性や専門性という特徴を活かし、さらに協働の関係づくりを進める必要があります。そのためには、中間支援NPOや市民活動サポートセンターが、ヒト・モノ・カネ・チエ・ヤルキなど協働を進めるために必要な要素の橋渡し役として、ますます重要となります。出会いを演出して欲しいですね。

イベント情報

6月25日(土)

NPO 会計ソフトの実技講習会

NPO 法人対応の会計ソフト(体験版)を使用し、ソフトのインストールから書類作成まで体験していただけます。

日時: 6月25日(土)午前10時~12時
会場: 北部市民活動サポートセンター(大館市)
対象: NPO 関係者(当日パソコン持参)先着10名
費用: テキスト代3,000円(体験版ソフト含む)
☎ 特定非営利活動法人あきたNPOセンター
TEL018-831-8412

6月30日(木)

花岡事件60周年記念講演会

慶州ナザレ園の宋美虎(そんみほ)園長を招き、講演会を開催します。聴講は自由。

日時: 6月30日(木)午後6時~
会場: 大館市中央公民館
☎ 花岡の地・日中不再戦友好碑をまもる会
事務局 TEL0186-43-0735(担当/佐藤)

7月3日(日)

すくすくひろば合同 パパとあそぼう

パパといっしょに思いっきり遊びましょう!
手遊び・親子体操・ゲーム・歌など

日時: 7月3日(日)午前10時~11時30分
会場: 能代市市民体育館
☎ 能代市子育て支援センター
事務局 TEL0185-52-8115(担当/泉)

7月23日(土)

平成17年度県民介護講座 「口腔ケアで食べられる口づくり」

「口は消化器」といわれ重要な働きを持ちます。口をきれいにする「口腔ケア」と口の動きをよくする「口腔リハビリ」で生きる意欲と食べる喜びを取り戻しましょう。

日時: 7月23日(土)午前10時~午後3時
会場: 北部シルバーエリア
受講料: 無料(実技教材費は実費)
定員: 先着60名(定員になり次第締切)※申込必要
☎ 秋田県介護実習・普及センター(LL財団内)
研修・相談課 介護講座担当 TEL018-829-2777

6月26日(日)

平成17年度 男女共同参画推進月間事業 ハーモニーフェスタ2005&合併記念

子どもからお年寄りまで、
みんなが楽しめるお祭りです!

男女共同参画テーマソングダンス、大型紙芝居、
対話劇、ハーモニーチェックコーナー(バルーン
アート、ネイルアート、キーホルダー作りほか)

日時: 6月26日(日)正午~午後4時
会場: 大館市いとくショッピングセンター催事場
☎ 秋田県北部男女共同参画センター
TEL0186-49-8552

7月10日(日)

大館市レクリエーション協会30周年記念 秋田県レクリエーション大会 inODATE

生き生きと、いい汗、いい友、いい笑いで
レクの花を咲かそう!
多くの方々が心豊かな楽しい一日を!

日時: 7月10日(日)午前10時~午後3時30分
会場: 大館樹海ドーム
参加費: 300円(障害保険料含む)
持ち物: 昼食、ズック、運動ができる服装
☎ 大館市レクリエーション協会
事務局 TEL0186-42-6848(担当/岩谷)

7月30日(土)31日(日)

平成17年度 自然体験研修 親子自然体験教室 ~秋田の四季・夏~

自然体験(大覚野牧場、垂天池(たてち)沼)
や星空観察、絵とうろうづくりを行います。

日時: 7月30日(土)31日(日)午前8時30分~
集合場所: 農業研修センター(南秋田郡大潟村)
受講定員: 親子10組(小学生: 中~高学年対象)
受講料: 大人2,000円 小人1,000円
※宿泊等についてなど詳しくはお問い合わせください。
☎ 秋田県農業研修センター TEL0185-45-3113

障害のある方への支援者募集

施設利用者と一緒にショッピングや食事を楽しんだりします。(主に大館市・鹿角市方面)

対象者：どなたでもかまいません。ボランティア保険加入(一部自己負担有)

☎ 小坂町社会福祉協議会 TEL0186-29-3221

http://www.2.ocn.ne.jp/~kadaru/

ジュニアコーラス団員募集

一緒に楽しく合唱してみませんか。専門家による発声・歌唱指導のほか、廃校の校歌復活イベント(8/12)、ドイツのアマチュア合唱団との国際交流イベント(10/7)、今後は福祉施設訪問なども予定。

対象者：大館市・比内町・田代町に在住の小中学生

☎ 市民文化会館 TEL0186-49-7066

第25回「緑の都市賞」募集中

都市の環境改善、景観の向上等に取り組む、樹木や花などの「みどり」を用いて、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに成果をあげている市民団体や企業等と都市の緑の保全、緑化の推進に個性的な施設等で取り組み、成果をあげている公共団体からの事例を募集します。

募集締切：6月30日(木)

☎ 財団法人都市緑化基金「緑の都市賞」係

TEL03-5275-2291 http://www.urban-green.or.jp/

手話ボランティア養成講習会 受講者募集

講習内容：平成19年度開催の「秋田わか杉大会」に参加する聴覚障害者へのコミュニケーション、情報をサポートするボランティアを養成するもので、17年度は「基礎課程」(20講座)、18年度は「応用課程」(20講座)を実施

受講資格：①平成元年4月1日以前に生まれ、秋田県内に在住、在勤、在学している方②手話による簡単な日常会話が出来る方③秋田県のボランティアとして登録し、大会期間中活動出来る方

定員：1会場30名程度(先着順)

講習会場：◆大館市中央公民館(7月1日(金)～毎週

金曜日、午後7時～9時)◆能代山本広域交流センター(7月6日(水)～毎週水曜日、午後7時～9時)

☎ 秋田県企画振興部 国体・障害者スポーツ大会局 大会総務課 県民運動班 TEL018-860-5254 または 秋田県聴力障害者協会 TEL018-864-2782

広報ボランティア募集中

①県内の各種イベント会場などにおいて、「秋田わか杉国体」「秋田わか杉大会」の広報活動を行います。◆アクターズ◆PRボランティア◆サポートボランティア

②ボランティア活動が円滑に行われるようなサポート活動を行います。◆サポートボランティア

対象者：18歳以上(高校生除く)で、意欲的に取り組んでくださる方。個人またはグループ

☎ 秋田県企画振興部国体・障害者スポーツ大会局

TEL018-860-5208

ジュニアボランティア講座(夏期講座)

7月よりスタート、6月27日(月)受付開始!

Aコース<7/23(土)8/10(水)11(木)>

Bコース<7/23(土)8/9(火)12(金)>

※小学校4～6年生が対象

Cコース<7/29(金)30(土)>

※小学校1～6年生が対象

講座内容：◆ボランティアとは?◆車イス体験・擬似体験◆施設訪問◆福祉犬とのふれあい◆とらいあんぐる訪問 ほか(各コースにより異なるのでご確認ください)

☎ 能代市ボランティアセンター TEL0185-53-5180

子育てボランティア募集

子育ての環境づくりを市民とともに考え、形にしているために、奮闘している家族を中心に「子育て」を通じた交流を持つスペースとして、つどいの広場『ぶらんこ』(能代市島山)をオープンしました。そこで、広場に来る親子と話したり、遊んだりして下さる方を募集しています。年齢、時間帯は問いません。いつでも大歓迎です。

☎ 特定非営利活動法人 メリーゴーランド

TEL0185-55-2533(理事園長/佐々木)

第4回 マイクロソフト NPO 支援プログラム

対象内容：「ITの活用」に重点を置いたプロジェクトで◆「人々の可能性を最大限に引き出す」活動◆「社会的課題の解決をめざす」活動

対象団体：①日本国内で活動するNPO（法人格の有無・種類不問）②法人格を持たない団体は2年以上の活動実績③基本的なITの使用が可能

助成額：総額2,000万円(1件あたり300万円上限)

応募締切：7月20日(水)必着

☎ マイクロソフト株式会社

電子メールアドレス：jnpno_4@microsoft.com

公式サイト <http://www.microsoft.com/japan/npo>

財団法人太陽生命ひまわり厚生財団 社会福祉助成事業

助成内容：①高齢者の自立・自立を支援する事業、民間ボランティアグループが行う事業、障害者の福祉に関し啓発、開発、普及深化させる事業②研究助成

対象団体：本財団の目的を達成することができる非営利の民間団体等

助成額：①各20～50万円②30～70万円

応募締切：6月30日(木)

☎ 財団法人 太陽生命ひまわり厚生財団 事務局
TEL03-3272-6268

藤本倫子環境保全活動助成基金

対象内容：(1)実践活動（観察会、リサイクル、植栽・環境修復等）

(2)普及啓発活動（環境講座・教室の開催、パンフレットの作成、広報誌の作成、教育教材の作成等）

(3)調査活動（野生生物の調査、水質等の調査・分析、環境情報の収集・提供等）

対象団体：日本国内において、環境教育や地域の環境保全活動を行う営利を目的としない団体または個人であり、団体の場合は主として一般市民により構成されていること。個人にあっては、環境カウンセラーで、環境教育や地域の環境保全活動などを積極的に実践している方に限る

応募締切：8月22日(月)

☎ 財団法人日本環境協会 運営管理委員会事務局
TEL03-5114-1251

http://www.jeas.or.jp/activ/prom_01_00.html

第16回「緑のデザイン賞」募集

財団法人 都市緑化基金と第一生命保険相互会社の共催により、地域社会の質的向上を目指し、公共団体及び民間団体から新たに提案される緑化プランを募集し、優秀なプランに対してその実現のための助成(800万円以内)を行う

応募締切：8月5日(金)

☎ 財団法人 都市緑化基金内「緑のデザイン賞」

事務局 TEL03-5275-2294

<http://www.urban-green.or.jp>

財団法人こども未来財団 平成17年度助成事業

①特別保育事業等推進施設助成事業

児童の健全育成及び資質の向上を図ることを目的に、保育所を設置・経営する社会福祉法人等が、特別保育推進事業等を推進するために行う建物や設備の整備及び備品等の購入に対しその経費の一部を助成

助成金額：総事業費に4分の3を乗じて得た額と75万円を比較して少ない方の額

②地域児童健全育成施設整備助成事業

一般事業主または社会福祉法人等が昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童、その他健全育成上指導を要する児童を対象として、放課後児童健全育成事業を実施する「地域児童健全育成施設」を建築する場合に、当該施設の整備に要する経費の一部を助成

助成額：8,268,000円を限度とする

申込締切：6月30日(木)

☎ 財団法人 こども未来財団 TEL03-6402-4824

<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp>

日本財団 福祉車両助成

対象内容：①介護支援車（昇降シート付き）の整備②車いす対応車（軽自動車）の整備③車いす対応車（普通車）の整備

対象団体：作業所の活動、障害者による自立生活センターの活動、在宅介護・家事援助（ホームヘルプ）活動、移動困難者の外出支援活動、民間デイサービスの活動などで、送迎・移送サービスを行うNPO法人・任意団体

助成額：基準価格の80%

申込締切：6月30日(木)

☎ 日本財団 車両チーム TEL03-6229-5163

<http://www.nippon-foundation.or.jp>

Vivace

ヴィヴァーチェ：イタリア語で生き生きと快活に

お金はどこから来てどこへいくの？

お金はどこから来てどこへいくの？
モノの値段はどうやって決まっているの？

子供達のお金や経済についての疑問は素朴で純粋なものです。私たちはどれだけの確に答えられるのでしょうか？

我が国では長くお金と性の話はタブー視され、正しく教育されることもありませんでした。しかし昨今はお金の使い方を誤ったがために人生を破滅させたり、素晴らしい能力を持ちながらもお金を集めることに腐心するあまり本質を見失ってしまう人が少なくありません。

“ひと”と“暮らし”と“まち”大館ネットワークは、暮しと社会の基盤である経済・金融についての知識



大館からディズニーランドまでいくらかかる？

を市民が相互に深め、地域との関わりや自分らしい人生を構築する上での自律した価値観を養うことを支援することを目的に、昨年7月にまちづくり団体や経済団体、金融機関、行政など多くの団体が参集し結成されました。実際の指導にあたってはNPO法人金融知力普及協会(東京)の全面協力を得て行っています。

大館市立釈迦内小学校での授業風景



お父さんお母さんの仕事は何ですか？



昨年11月には活動のキックオフとなるシンポジウムをNTTドコモシニアアドバイザーの大星公二さんや最近三洋電機の社長に抜擢されたジャーナリストの野中ともよさんなどを迎えて開催し、金融経済教育の必要性を大いに語っていただきました。大館市では既に市内2小学校で金融経済教育が行われており、全国的にも注目を集めています。

ネットワークでは当面の活動を子供達への教育に重点を置くことにしており、今年度は経済産業省のキャリア教育事業へも応募しており、田植えからきりたんぼづくり、宣伝、販売などを実際に体験することによって労働の大変さやお金の流れなど、地域特性にあった学習を進める計画で、地元企業や地域を広く巻き込んだ取り組みになりそうです。ネットワークでは協力くださる企業やボランティアも募集中です。

“ひと”と“暮らし”と“まち”大館ネットワーク

事務局長 小棚木 政之

☎ TEL0186-49-5140 大館まちづくり協議会 内
メール info@odate-machikyo.com

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

秋田県のボランティアや市民活動に関する情報や話題が満載。登録していただくと団体のプロフィールや目的、事業などを紹介できます。

訂正とお詫び

5月号の8ページ・かつの21プランの事務局長のお名前は「田中喜昭」の誤りでした。訂正し、お詫びします。

編集後記

ある新聞より「子どもを叱ってもよいが怒ってはいけない。怒っているのは親が自分の感情に押し流されている心理状態。表情は怒っていても心は冷静であれ。」…心がけたいと思います。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

情報をお待ちしています

県北のボランティア・NPO活動の情報をどんどん紹介します。電話やファックス、メールで情報をお寄せください。活動の輪を広げましょう。

また、北部男女共同参画センターでは、貸室(研修室・グループ活動室)、本・ビデオの貸出、交流サロン、ロッカー、印刷機・コピー機の利用ができます。

〒017-0841

秋田県大館市字大町57

TEL 0186-49-8553

FAX 0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

